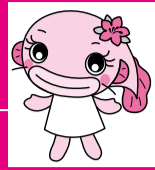


よしかわ 議会だより

NO.161

平成26年5月1日



発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1
TEL & FAX (982) 9421
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp



美南小学校校歌完成披露式典（8ページに写真説明があります。）

新年度予算を可決

新庁舎建設推進事業、

防災・減災事業などを実施

新しい正副議長が

決まりました

松澤正議長、五十嵐恵千子副議長が2月4日に辞職し、新たに松崎誠議長、互金次郎副議長が就任しました。



松崎 誠
議長



互 金次郎
副議長

◆就任にあたって◆

大震災から三度目の春を迎えました。

「人の絆こそ至宝なり」との思いを新たに、このたび議長・副議長に就任致しました。

市民の皆様と吉川市議会の絆を「固い信頼の絆」とすべく全力を尽くす所存です。当市議会への皆様の一層のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

今号の主な内容

- 平成26年度予算を可決……………①
- 施政方針に会派代表者が問う！……………②
- 答えて市長！一般質問……………③
- 常任委員会の審査から……………④
- 審議結果・編集後記……………⑤
- ……………⑥
- ……………⑦
- ……………⑧

3月定例会の概要

3月定例会は、2月26日から3月20日までの23日間にわたり開催されました。

市長提出議案21件は、すべて原案のとおり可決・同意し、議員提出議案は4件を上程、2件を可決しました。

また、3日間にわたり行われた「市政に対する一般質問」では、17人の議員が市政全般にわたり市の見解をいただきました。

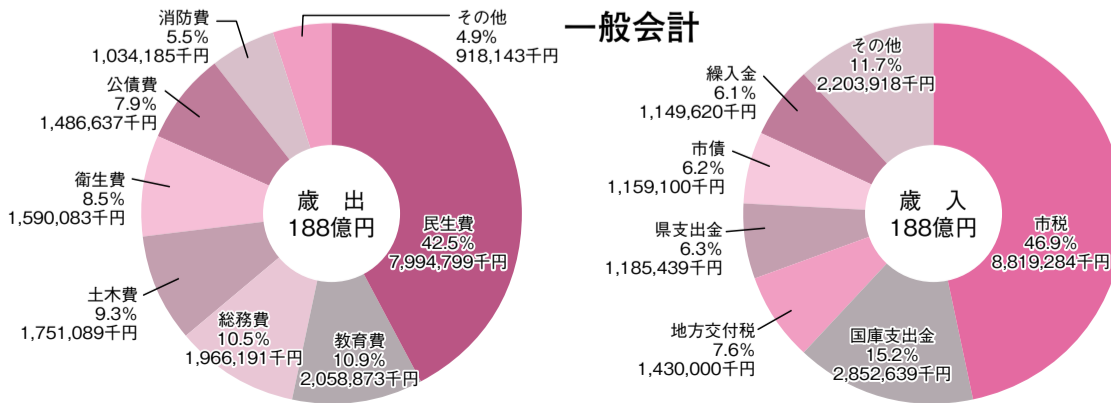
市長提出議案

新年度一般会計予算

188億円でスタート

一般会計の予算は、前年度比5.4%増の188億円となり、第5次総合振興計画前期基本計画の効果的な実施に向け、様々な事業が展開されます。

一般会計



市長提出議案

次ページへ続く

平成26年度一般会計 こんな事業を実施します

新庁舎建設推進事業

1億2377万円

平成28年度の竣工に向け、必要な調査などを行いながら、新庁舎建設実施設計を行います。



吉川美南駅周辺地域 都市計画決定事業

9264万円

吉川美南駅東口周辺地域の市街化区域編入に向け、事業計画書などを作成します。

民間保育所等 施設整備支援事業

1億6149万9000円

平成27年4月の開所を目指し協議を行っている保育所などの施設整備を支援します。



防災・減災事業

3534万2000円

東日本大震災を教訓に、災害用備品の購入など、防災・減災の事業を実施します。

討 論

平成26年度一般会計予算に対し4名の議員が討論を行いました。その概要を討論者が要約してお知らせします。

反 対

日本共産党吉川市議員団
遠藤 義法

消費税増税と年金引き下げで市民のくらしはきびしさを増しています。市は水道料金などに消費税を転嫁しますが、他の施策を含め何も対応していません。市民税、地方交付税等の歳入額は例年の決算額からみても少ない。歳入を的確に算定し市民要望に積極的に応えるべきです。国が住宅リフォーム事業の助成を予算化したにもかかわらず、市は注視するのみです。事業化し、市民要望に応えるべきです。認可保育所の入所待ちが105人もおり、保護者は苦慮しています。対応の遅れは明白です。

市長は、水道水フロリデーションは当面実施する計画はない、と述べているにもかかわらず、啓発活動は続けるとし、37万余円を予算化しています。税金の使い方は誤りであり、中止すべきです。医師会除名問題から1年。改善は見られませんが、対応が遅い。

賛 成

自民・みらい
中嶋 通治

歳入は、市税全体で2億6百万円の増収が見込まれています。歳出は、防災マップの更新、災

害用物資の備蓄体制の強化、吉川小学校の耐震改修、大規模改修で全て完了。福祉関係では子供・子育て支援新制度のスタート。次年度開所予定の認可保育所などの支援で待機児童ゼロを目指すもの。子供のほめ方等を学習する親支援講座、ホームスタート事業の充実、子育てしやすいまちづくり、吉川美南駅周辺区画整理事業の推進、越谷吉川線の大場川東より計画的な整備、主要市道の路面状況調査により安全で快適な道路の整備、市民交流センター「おあしす」委託期間終了で選考については市民ニーズに的確に対応され、サービスの向上を期待。「住みよき日本一」をめざし積極的な市政運営に取り組まれることを挙げ賛成します。

賛 成

公明党吉川市議員
小野 潔

平成26年度一般会計予算は、前年度当初予算比5.4%増の188億円となっており、将来を見据えた積極的な予算編成であることがうかがえます。注目すべき点を申し上げますと、待機児童解消の対応として、平成27年度に開所予定の認可保育所の整備、子ども・子育て支援事業計画の策定、子育て応援サイトの充実、LED照明防犯灯の新設

に加え、既存の防犯灯のLED照明の導入計画の策定、おあしすに設置する電気自動車用充電器の運用開始。また、吉川小学校体育館の耐震補強工事によって、市内全ての小中学校施設の耐震化が図られることになりました。高く評価致します。消費税引き上げに伴い公明党が強く主張した、低所得者対策の臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の円滑な実施を強く望み賛成討論と致します。

賛 成

市民改革クラブ
稲垣 茂行

26年度予算で評価できる点は、まず防災対策です。昨年に引き続き災害から市民を守る対策が強化されます。地域防災計画・防災マニュアルの見直し策定、災害用便槽の整備を始め吉川小学校体育館の耐震補強・大規模改修を実施(吉小体育館は25年度補正)。これにより、市内小中学校全ての耐震化が完了します。

治水対策では、吉川5区ポンプ場の排水ポンプ交換を実施。子育て支援では、新たな認可保育所等2カ所の整備補助で待機児童ゼロを目指します。吉川美南駅東口周辺開発地区は、60ヘクタールの事業計画案を作成し、26年の市街化編入へ向け、国・県との調整に入ります。解決すべき課題は、市指定医療機関からの排除問題とフロリデーシオン啓発活動の即時停止。税徴収は対策強化を求めます。

市長提出議案

特別会計など

新年度予算決まる

5つの特別会計と水道事業会計の平成26年度予算は左表の通り決まりました。

●特別会計

会 計 別	予算額 (千円)	前年度比 (%)
国民健康保険	7,914,249	3.8
下水道事業	1,335,457	41.1
農業集落排水事業	30,556	△0.7
介護保険	3,336,366	10.6
後期高齢者医療	415,493	8.5
合 計	13,032,121	8.6

●水道事業会計

収益的収入 及び支出	予算額 (千円)
水道事業収益	1,542,958
水道事業費用	1,407,302

資本的収入 及び支出*注	予算額 (千円)
資本的収入	479,002
資本的支出	824,302

注：水道事業会計において資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。

議員提出議案

今定例会では、4件の意見書を上程しました。

可決した次の2件は、内閣総理大臣などへ送付しました。

微小粒子物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書

給食食材費の賠償

東京電力(株)と和解

福島第一原子力発電所の事故により生じた市の損害について、和解することが決まりました。

【和解内容】

●学校給食及び保育所給食の放射能検査に係る食材費に対する賠償金
102万5916円

人事案件

◆副市長

3月31日をもって任期満了となる蓮沼嘉一氏の後任に、椎葉祐司氏が選任されました。

◆教育委員会委員

3月31日をもって退任する木村弘子氏の後任に、神田美栄子氏が任命されました。

福島第一原発の放射能汚染水漏れを繰り返し返さない対策を求める意見書

市のホームページでは、意見書の全文や会議録などがご覧いただけます。ご利用ください。





戸張市長の施政方針に

会派代表者が問う！

市長の施政方針より

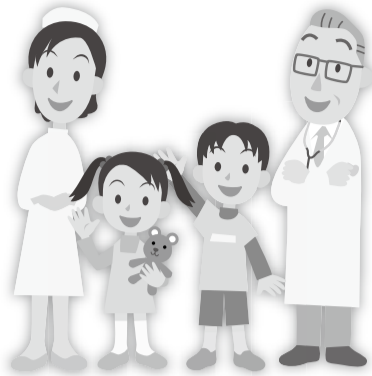
「住みよさ日本」目指し…

▼災害から市民の生命と財産を守る

▼子育てしやすいまちをつくる

▼まちの住みよさと魅力を高める

地域に向くことを心がけ、市民の皆様一人ひとりの声に直接耳を傾け、市民の皆様の想いを実現するためには何が最善かを常に考えながら、様々な課題にチャレンジしてまいります。



に努める。ライフサイクルコストも考慮し、必要な面積や機能を備えた新庁舎建設に向け、全力で取り組んで行く。

市民改革クラブ

伊藤 正勝

自民・みらい

松澤 正

(問) 地域防災計画見直し策は、(答) あらゆる事態を想定し、防災資機材の整備や備蓄物資の充実・強化と災害対応の体制整備を図る。防災マップの更新、自主防災会の活動支援等、地域の防災力を強化して行く。

(問) 子育て支援の新制度を見据え、その充実策は、(答) 平成26年度から「保育幼稚園課」を設置し、組織体制を充実させる。情報サイト「子育て応援サイト」の開設。

(問) 吉川松伏医師会からの一部医療機関の除名問題への市の新たな対応は、(答) 子宮がん検診は、医師会の協力を得て、集団検診を追加し、受診機会を拡大して行く。除名された当該医療機関での予防接種についても、区域外接種における請求手続を簡素化する方向で検討を進めて行く。

(問) 新庁舎の建設に向け、費用等厳しくなるが、その対応は、(答) 昨今の経済状況から費用増加は避けられないが、効率的な工法等、様々な視点から縮減

に努める。ライフサイクルコストも考慮し、必要な面積や機能を備えた新庁舎建設に向け、全力で取り組んで行く。

公明党吉川市議員団
五十嵐 恵千子

日本共産党吉川市議員団
小林 昭子

(問) 認可保育所の耐震化の現状と課題、今後の計画は、(答) 耐震化率は、全国と県内平均を下回る4%となっており、建て替えも検討せざるを得ない。今後、公立保育所は建物の改修、運営の在り方について検討し、早期に方針を決定して行きたい。

(問) 民間保育所は他の事例等も研究しながら、耐震化に向けた検討を行っていただくよう要請する。(問) 「子育て応援サイト」のトップページへ子育ての悩み相談窓口一覧も加え、さらに充実を。

(問) 加える事が可能な事業者と調整する。また、新年度から、市民目線で内容の充実を図る。(問) 臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金対象者へ解りやすく個別の周知徹底を。

(問) 早期の実施に向けて準備を進める。また、広報や案内の全戸配布など広く周知を行う手法や可能な限り対象者を限定した通知も行いたい。(問) LED照明について、過去にリース方式を提案しているが計画的な設置や導入は、(答) リース方式を念頭に、国の補助事業で採択された場合、検討し、市内全域での導入計画を定め、導入を進めたい。

(問) 昨年来の医師会除名に端を発した予防接種、子宮がん検診問題の早期解決を。日本共産党市議員団は昨年5月「市民の不安が広がらない様万全の対応をする事」と市長に要望書を提出。9月議会の請願には「予防接種や検診を従前の通り受けられる措置をとる事」と付帯意見を提出し市長に送付。12月議会での

①予防接種区域外申請手続きの簡素化②子宮がん検診は個別契約等踏み込んだ解決策を。③保健カレンダーは市予算で作る事の3点の要望について答弁を。(答) 市としては当事者間での解決の努力で、当市の保健事業への協力を願うが対応策として

①申請手続きを一度で済む様、簡素化を調整でき次第実施。②保健センターでの集団検診を医師会に協力を要請している。③新年度から市予算で作成する。(問) 住宅リフォーム助成制度に国交省は推進事業を創設した。平成25年度補正20億円、新年度30億円予算化。市の制度実施を。(答) 国の動向を注視し研究。

(問) 小中学校教室へクーラーの設置を求める。(答) 大規模改修計画等を進めている。クーラーは考えてない。

「議員さんは議会のない日は何をされているの？」など、市議会議員に聞いてみたいことがある小・中学生を募集します。5～6月に対談を実施し、その内容を「議会だより」に掲載する予定です。

対象 市内在住の小・中学生2名程度(先着順、対談日都合等により調整あり)
応募先 議会事務局まで電話またはファクスでお問い合わせ下さい。TEL・FAX 982-9421

請願

今定例会では、1件の請願が提出され、審査の結果、不採択となりました。

「特定秘密保護法」を速やかに撤廃するよう国に意見書提出を求める請願
請願者 埼玉土建一般労働組合吉川松伏支部
支部長 松田省吾

紹介議員 佐藤 清治
小林 昭子

昨年暮れに「可決」「成立」した「特定秘密の保護に関する法律(特定秘密保護法)」は「軍事」「安保」「外交」にかかわるあらゆることを国民の目から覆い隠し調査、研究、取材、報道、言論の自由を奪おうとするものであり、日本国憲法で保障された基本的人権を侵害する治安立法です。国民の「知る権利」を奪い、報道・言論の自由を抑圧し、平和、自由、民主主義をおびやかす、「特定秘密保護法」を速やかに撤廃するよう、国に対して意見書をあげていただきますよう切に要望いたします。

地方自治法第124条の規定により上記の通り請願書を提出します。





答えて市長！

一般質問

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり、市の見解をいただきました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は6月上旬となる予定です。

高齢化問題にどの様に 取り組むのか

中嶋 通治

問 病気や介護を未然に予防する事により、市民が人生の長い期間を健康で生活できる事を目指す健康長寿のまちづくりを市の施策に位置づけ、強力に推進すべきで有ると提案しますが見解を伺います。

答 市長 高齢になっても安心して住み慣れた地域で自立した生活ができる事が必要である。提案された事はまさにこの考えに沿ったものである。各分野と連携強化しながら取り組みを進めるとともに、将来的には、総合振興計画での位置づけについて検討します。

◆交差点の地点名表示と道標設置を

問 吉川マルシェや駅からハイキング等が開催され、観光客の為に設置するべきで有ると考えるが見解は。

答 都市建設部長 今後検討します。

◆産婦人科の誘致を。

答 市内に一箇所の医療機関で

は不便で安心して出産できないとの声があるが。

答 市長 医師会と今後協議する。

市指定医療機関 「抹消問題」の解決を！

稲垣 茂行

問 公正取引委員会が「吉川松伏医師会」に対し、独占禁止法違反を認定し、排除命令措置を出した。市は医師会との関係はどう見直すのか。

答 市長 保健事業を実施して行くためには、対象となる市民が確実に受診できる体制が重要。医師会との信頼関係を基本に、実施体制を構築していく考えに変わりはない。市としては、医師会に対し遺憾の意を表すとともに、排除命令について適正な措置を取り、市民の信頼回復へ向け努力するよう申し入れた。

問 これまでの判断、対応に問題はなかったか。市長の責任は。

答 市長 定期予防接種・子宮がん検診・妊婦健診の実施については、出来る限り適正な対応をしている。保健事業全体からすると、市民への影響は最小に抑

えられていると認識している。

問 現在の異常事態は市の判断ミス。係争中にも関わらず、市療機関から除外した結果であり、個別契約を結ばなかったことで混乱と不安を増幅させたのではないか。

答 市長 最大限努力している。

より安心な生活を送る為の 放射能対策について

稲葉 剛治

問 放射能は流行とは違い、人が存在を忘れたからといって無力になるわけではない。放射能の影響は小さい子供に出やすいと言われている。20年、30年後の為に子供の未来を守る為の問題を解決したいと考える。そこで、甲状腺エコー検査実施の見解、尿検査による内部被曝対策についての見解は。

答 政策室長 福島県では18歳以下の子供達に対して超音波による甲状腺検査を実施しているが、外の子供達と変わらない。この事から吉川市では、甲状腺に関

する検査をする必要はないと考えている。尿検査に関して、尿の量、濃度に大きく左右される事がある。福島県では現在、ホールボディカウンターによる検査を継続的に実施しているが、健康に影響が及ぶ数値ではなかったとの事から、吉川市では、内部被曝に関する検査は必要ないと認識している。

問 給食食材の放射能検出限界値を下げる事についての見解を。

答 政策室長 現在の検出限界値でも問題ないと考えている。

公用車の交通事故防止対策 の更なる充実を

互 金次郎

問 公用車を運転する当市の職員は、交通ルールを遵守し、安全運転を心がけていると思えます。しかし、ヒューマンエラーやヒヤリハットに象徴されるように、一つ間違えば「被害者」「加害者」になりかねない事故リスク環境に囲まれています。

答 政策室長 実際に発生した公用車事故の事例及び予防策をまとめたものを作成し情報の共有を行います。さらに、運転者への「安全運転の声かけ実施」の定着に取り組み、安全運転意識の向上を図ります。

防止対策の有効性から国土交通省や警察庁がその活用を推奨し先進自治体にも導入が進んでいます。当市も導入を検討しては。答 総務部長 ドライブレコーダの設置は安全運転の意識向上のツールになると思われれます。坂戸市等の公用車の事故発生改善状況を調査・研究します。

なまりんと一緒に健康・ 体力づくりの推進を

五十嵐 恵千子

問 2025年以降は、4人に1人が65歳以上の超高齢社会になります。健康寿命の向上を目指し、①誰もが運動に親しむことができる環境を。②「なまらん体操」拡充のために、気軽に取り組めるDVDの配布や動画配信など、市民からの要望がありますがご見解を。③子どもから大人まで、幅広く支持されるような「なまりんダンス」を公募でつくり、市民総体で健康・体力づくりの高揚を図っては。

答 市長 ②健康づくりの必要性を説明しながら、なまらん体操を多くの自治会で実施できるように支援していく。DVDの配布と動画配信は、著作権の問題とHPの容量制限等があり、現在行う事は難しい。③なまらん体操の発展は今後研究。市民総体での健康づくりは実施を検討。

◆「コール・リコール」で女性特有のがん検診の受診率向上を

美南駅東口周辺地区 区画整理事業の方向性を

小野 潔

問 「文化・芸術を感じられる」「森の駅」をコンセプトに作られた美南駅との融合性について、またコンパクトシティ、スマートタウン・エコタウン構想を取入れてはどうか。

答 都市建設部長 美南駅と一体的なまち、省エネ、創エネ、蓄エネを条件に工夫をしていく。

◆市立図書館及び学校図書館に「読書通帳」の導入を

問 自動貸出機で借りた本のデータが、併設される読書通帳機に送られ、通帳を入れると借りた本の「タイトル」「著者名」「貸出日」が記載される仕組みとなっている読書通帳の導入を。

答 教育長 他市の導入の成果などを見て、指定管理者と協議し研究していく。



高齢者・障がい者にやさしい沼辺公園へ

降旗 聡

保公園と同様な一般トイレは他の都市公園にも設置しているの
で、都市公園全体のなかでの今
後の検討課題とさせていただき
たいと考えています。

問 高齢者・障がい者にもやさしい公園について、①車いすでも利用しやすいように、沼辺公園のトイレの改良を。②保公園の障がい者専用駐車場設置とトイレの改良について。

答 都市建設部長 ①沼辺公園については、多機能トイレの前に目隠しの壁があります。トイレの入り口と壁の間が1メートルで、車いすの回転に必要な直径1.5メートルに満たないため、ドアを開けないと回転できない状況です。このため開けやすいドアに取り替えることや目隠しの壁の改修などを検討していきます。②保公園については、都市公園は誘致距離を勘案していません。駐車場は、基本的に誘致距離の大きい近隣公園に設置しています。保公園を含め、誘致距離が小さい街区公園には、駐車場を設置していません。また、トイレを改良する時は、多機能トイレにする必要があります。



沼辺公園

公共施設等総合管理計画について

安田 真也

問 国と自治体が一丸となつて、公共施設等の戦略的な維持管理や更新等に取り組む方針が打ち出されたが、当市の取り組みは。

答 市長 公共施設トータルマネジメントの第一歩として、26年度に「公共施設マネジメント基本方針」を策定し、ハコモノ施設を中心とした当市の公共施設の現況や将来の見通し、更新や長寿命化に関する基本的な考え方などを示していく予定である。また、なるべく早い時期に、全ての公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための「公共施設等総合管理計画」を策定し、当市の実情にあつたマネジメントに取り組みたいと考えている。

市史を子供達にも分かりやすく伝えるべき

問 市史編さん事業も大詰めをむかえている。子供達に郷土の歴史を知ってもらうために、工夫をしてみてもいいか。

答 教育部長 市制20周年記念誌として「年表吉川のおゆみ」を編集する計画。年表中にマンガ等を入れられないか協議する。

行政計画の執行体制と個別計画について

中村 喜一

問 計画の事業目的にそつた執行体制や人材の登用システムを構築すべきではないか。

答 市長 総合振興計画を推進するため、行政ニーズに的確に対応できる組織機構を編成し取り組んで行く。また年功序列や固定観念にとらわれず、職員の資質を見極め、優秀な人材を積極的に登用していく。

問 農地集約化の計画策定は、地域関係者全ての話し合いが鍵になるのではないか。

答 市長 国が進める業務内容が解り次第、準備に取組む。農地中間管理機構に関しては、今後農協など関係機関と連携し協議を進めていく。市単独の計画策定の考えは無く、機構から委託される業務を地域の担い手農家や農地の出し手に情報提供していくことが重要と考える。

問 国が示したインフラ長寿命化行動計画の策定を急ぎ、資金ルールに乗るべきではないか。

答 政策室長 市では共保・高久雨水ポンプ場の長寿命化計画や橋梁長寿命化修繕計画を策定した。今後ポンプ場の機械・電気設備の更新工事、橋梁の修繕・道路ストックの点検などで国庫補助金を活用していく。

財政の長期展望を

山崎 勝他

問 ①庁舎建設事業費予算は。②学校給食センター整備事業費は。③吉川橋架け替え事業費は。④吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業費は。⑤将来の公債費が最大になる年度は。

答 総務部長 庁舎や倉庫棟、外構工事ほかIT関係や備品費等合わせて約55億8300万円と推計している。②平成28年度から15年間の運営維持管理で、71億3615万1千円。③吉川橋の工事と用地補償の負担金は約4億5千万円、進捗率は約63・9%。④総事業費は、約174億円。そのうち市負担は約48億円の見込み。⑤平成31年度に公債費が最大となる見込み。

農業経営安定対策は。

問 人・農地プラン2014年米政策の見直し、その仕組は。

答 市長 県に農地中間管理機構を設置し、人・農地プランにおいて地域の中心となる農業者などの担い手に、農地の集積、集約を進める。主食用米に対する交付金は平成26年度から減額し、平成29年度をもって廃止することとしている。農家自らの行政策転換である。

戦争する国づくりは許されない

佐藤 清治

問 安倍首相は衆院予算委員会で内閣が勝手に憲法解釈の変更ができるとの考えを示した。首相の発言は戦争する国づくりへ突き進むものとして多くの市民から不安と怒りの声がかきかされる。市長はこうした声を解消する為にも抗議すべきでは。

答 市長 集団的自衛権をめぐる問題については国会でも十分かつ慎重に議論していただきたいと考えている。

高齢者肺炎球菌ワクチン助成を

問 全国の自治体でも大きく広がっている。市としても助成を。

答 市長 国として定期接種とした場合、すみやかに実施する。

公契約条例制定を

問 吉川市も制定すべきでは。

答 総務部長 考えていない。

市道の震動対策は

問 駅南で水道管の布設替が行われている本復旧と震動対策について伺います。

答 水道課長 震動対策については市道365号線で実施した舗装で効果が出ており、同様の施行で対応している。

調整区域を生かした一体感のあるまちづくりを

小林 昭子

問 駅北口に近いフレッシュアップームを拠点に市民が農村部に親しめる街づくりを。

答 市民生活部長 なまずの街おこしや吉川ねぎのブランド化に着手した。今後、開催予定の観光資源検討委員会で議論される。

新さびり改修の進捗状況は

答 市民生活部長 道路横断部分の暗渠敷設替えを平成20年度から着手した。平成25年度は最優先箇所の新田用水路を横断する流末部の整備と新さびりに流入する西側水路道路横断部分の暗渠3ヶ所を整備。今後、整備内容について地域の代表者と調整を図っていく。

資材置き場設置条例を

問 資材置き場への通行道の舗装など当面の対策にも力を。

答 市民生活部長 愛知県春日井市の防止措置を義務付けるもの、神奈川県厚木市の開発行為時の近隣説明会の義務付けと、大きく2つに分かれている。一定の効果は見込まれるが完全に問題解決するのはむずかしい。今後情報収集と研究をしていく。

答えて市長！一般質問

前ページから続き

新庁舎建設へ55億8300万円の
市税投入は再検討すべき

齋藤 詔治

問 新庁舎建設総費用が、55億8300万円、当初計画より15億円も上回る。建設地及び建築手法の見直し(3階建を平屋建にし、計画地に建設なら、建物規模の縮小)を図るべき。
答市長 財政的にも決して余裕のある状況ではありません。工事単価等について省けるものは省けと指示をし、事業費の抑制に努めて参ります。

市民誰もが健康で生き生き
生活するための事業を

遠藤 義法

問 健康づくりに保健・予防事業の強化が求められている。課題と推進策は。②産科のある総合病院の建設、誘致の考えは。③高齢者、障がいを持つ方々が外出できる交通網を整備すべき。
答市長 生活習慣病が重症化し、脳血管疾患、腎不全などがひき起こされる。保健師を中心に予防策に取り組んでいる。②は、吉川松伏医師会と協議し、検討していく。③は、利用実態や移動ニーズ調査を実施した上で利用促進策を検討していく。

介護保険制度改定、
サービス低下と負担増の心配が

高野 昇

問 介護保険制度改定では、要支援1・2の訪問・通所介護を市町村事業に移すとされている。利用者へのサービス低下と負担増、事業所の減収、自治体の費用増加などが懸念されるが。
答健康福祉部長 新事業では既存の訪問・通所サービスを既存の事業所で利用できるほか、生活支援サービスやミニデイサービスなど多様なサービスが利用可能との案が示されています。総合事業に移行するに当たって事業費全体が国から確保できない場合、事業量の圧縮や安価な方に向けてゆく、場合によっては市費の投入が懸念されます。

新庁舎建設費 抑制めざせ

伊藤 正勝

問 新庁舎は実施設計に入る。総経費は55億円余。これまでの積算を大幅に上回る。軟弱地盤、諸経費、消費税一色々あるが限度額を設けてはどうか。市民と共に歩むため早期に利・活用の委員会の発足。議場などの思い切った開放。竣工時は市政20周年の節目。隣接自治体と共催のマラソン。市民と一体の各種イベントやみどりの整備、市民交流。「チャームアップ大作戦」を展開してはどうか。リーダーシップを期待し提案したい。
答市長 庁舎は基本的に行政機能の拠点であり防災の拠点。多目的活動のスペースの確保など市民要望に沿い愛着のもてる庁舎をめざしたい。
答総務部長 建設費縮減はめざすが状況は変化。限度額設けることは困難。基金、地方債、国の補助金活用にも工夫。現庁舎の売却金は4億円を見込む。市民委員会設置は考えていない。



昨年の台風26号では、市内各所が冠水

ゲリラ豪雨対策、「100
ミリ/h安心プラン」に登録を

加藤 克明

問 昨年、国土交通省が創設した「100ミリ/h安心プラン」その概要と流れについて。
答都市建設部長 行政と住民や民間企業など参画のもと、河川や下水道のハード面、避難行動

を支援するソフト面の対策を行い浸水被害などの軽減を図る計画。国・県・市の河川管理者、下水道管理者と住民や企業などで協議会を設置。計画策定後、国へ申請・登録を行い、社会資本整備総合交付金などの支援を受けながら事業展開していく計画。
問 考えられる活用は。
答都市建設部長 懸案となつている貯留施設の設置や河川改修などが考えられる。
問 今後、活用する考えはあるか。
答都市建設部長 貯留施設や調整池については、膨大な費用がかかる見込み、その財源の確保が問題。また関連する法定計画との整合性を図る事が必要。国や県、お互いの事業のタイミングをはかり機会を見て調整していく。



◆除雪基本計画の作成
問 本年2月中に二度大雪に見舞われました。市の責務・市民の責務・勧告及び禁止、除雪への対応マニュアル作成の考えは。
答市長 平成26年度に地域防災計画の改定に合わせて除雪活動計画等を定めてまいります。

◆吉川美南駅東口周辺土地利用
計画並びに事業計画案の再々
検討
問 昨年9月実施のアンケートに基づく土地利用計画の再検討及び市負担金48億円の負担額を最小限にすべきです。
答市長 当市施工による事業計画案は、賛成の意向が示されました。今後当市負担の軽減に取り組んで参ります。

◆公共施設等の長寿命化策と財
源措置は
問 橋梁や公共施設等の長寿命化のため、点検、維持補修を定期的に実施する必要があります。
①公共施設、橋梁、道路の現状把握の取組みと修繕、補修の実施計画は。②財源確保策と具体的事業実施策は。
答政策室長 公共施設全体を把握するため、データの収集をはじめた。マネージメント基本方針を策定し、公共施設等管理計画と具体化を図っていく。財源が大事で、改修を目的とした基金の設置などを検討していく。

◆非婚ひとり親世帯に寡婦控除
みなし適用を
問 経済的負担の軽減や子育て支援のため、実施する自治体が増えている。吉川でも実施を。
答市長 税法改正が先決であり現在実施する考えはないが県内の動向を注視してゆきます。

◆下八間堀悪水路安全対策を
問 早急な安全対策を。
答都市建設部長 水路管理者の旭土地改良区へ要望を伝えます。

問 新庁舎は実施設計に入る。総経費は55億円余。これまでの積算を大幅に上回る。軟弱地盤、諸経費、消費税一色々あるが限度額を設けてはどうか。市民と共に歩むため早期に利・活用の委員会の発足。議場などの思い切った開放。竣工時は市政20周年の節目。隣接自治体と共催のマラソン。市民と一体の各種イベントやみどりの整備、市民交流。「チャームアップ大作戦」を展開してはどうか。リーダーシップを期待し提案したい。
答市長 庁舎は基本的に行政機能の拠点であり防災の拠点。多目的活動のスペースの確保など市民要望に沿い愛着のもてる庁舎をめざしたい。
答総務部長 建設費縮減はめざすが状況は変化。限度額設けることは困難。基金、地方債、国の補助金活用にも工夫。現庁舎の売却金は4億円を見込む。市民委員会設置は考えていない。

稲垣茂行議員(市民改革クラブ)
軽率な行為で謝罪

◆本定例会において、次のような発言
の申し入れがあり、許可されました◆

本定例会期間中、女性職員の肩に「セクハラ、セクハラ」と言いながら手を触れ、相手に不快感を抱かせる結果を招きました。軽率な行為であり、ご本人をはじめ、その場に居合わせた職員のみならずにも不快の念を感じさせたことは、わたくしの不徳の致すところで認識の甘さを深く反省いたします。

ご本人をはじめ職員のみなさまに対し、お詫び申し上げます。また、議員各位に対しましても、ご迷惑、ご心配をおかけし誠に申し訳ございません。今回のことは議会開会中、衆人監視の会議室でのことであり、ご指摘いただいた事態を厳しく受け止め、今後言動には十分注意してまいります。重ねてお詫びを申し上げます。

常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務水道常任委員会

◆部設置条例の一部を改正する条例

改正の目的と変更点は、施設の長寿命化、計画的な維持管理等を含めた公共施設の一括管理を見据え、営繕に関する事務を総務部に移管する。また、子ども・子育て支援新制度への移行に伴い、保育園・幼稚園を一括化していく。なお、現行の子育て支援課は事務量増加により、子育て支援課と保育幼稚園課に分ける。

賛成全員で可決

◆平成25年度一般会計補正予算

消費税法等の改正に伴う影響は、

消費税等の引き上げにより変更契約が必要な事業においては、新たに債務負担行為を設定する必要があるので補正をしている。変更契約が必要な事業は26事業、契約数は44本である。

賛成全員で可決

◆平成26年度一般会計予算

衛生費国庫補助金の社会資本整備総合交付金の内容は、「防災・安全交付金事業」として位置付けされているもので、市民安全課において実施する道路照明施設点検に対する交付金である。

賛成多数で可決

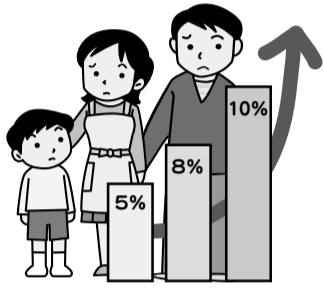
◆平成26年度水道事業会計予算

4月からの消費税改正に伴う平均的な家庭への影響は、収益事業全体への影響額は約3460万円であり、平均的な家庭では使用水量39㎡(2ヶ月)で131円である。

賛成多数で可決

◆請願審査

各委員による意見陳述を行った。可否同数委員長採決で不採択



文教福祉常任委員会

◆平成25年度一般会計補正予算

障害福祉費介護・訓練等給付費について、訓練によって自立の促進が期待されることから重要である。現状の給付費内容は、吉川フレンドパークで実施する生活介護が最も多額になっており、約3分の1を占める。他に占める割合の大きいものとして就労継続支援があげられ、その他居宅介護などがある。

賛成全員で可決

◆平成26年度一般会計予算

給食材料費について、どのようにに選定、発注しているか、また食材の決定は、第一、第二保育所分をまとめて、食材ごとの価格を比較して決定し、複数の見積りの中から金額の低い業者に発注している。生活保護費について、平成25年8月から物価下落を理由に引下げが行われているが、被保護者は苦しい生活を営んでいる認識を問う。

今回は低所得者との比較や地域性なども考慮し生活扶助費のみ見直し、3段階で最大10%の引下げが行われる。制度は国が定めるものである。

英語指導助手が8月に帰国するが、レイクオースエゴ市との友好を深める意味で継続確保を。派遣される指導助手の指定は

できない。今回は特別な配慮で派遣頂いた。今後検討していく。待機児童の年齢構成は、平成27年度から入所できる保育所はどの程度定員が増えるのか。待機児童は105名で0歳18名、1歳43名、2歳31名、3歳11名、4歳2名。定員は認可保育園60名、認可並の認可外保育施設が70名。

建設生活常任委員会

◆平成25年度一般会計補正予算

道路維持費の109万6千円の減額補正を行っているが、内容は何か。備品購入費の2トランプ購入の契約額の確定によるもの。

賛成全員で可決

◆平成26年度一般会計予算

集会施設補修等事業補助金について、要望の積み残しは無いのか。要望は100%実施。住宅用太陽光発電設備設置補助金の減額理由は、条件件数が伸びていない為、条件を見直し、利用喚起を行う。LED道路照明灯導入計画策定業務委託料について何を行うのか。

導入の際の電気料金、費用分析、灯器の選定、リース期間等を検討し計画を策定する。

常任委員会等の構成が変わりました！

常任委員会の任期満了に伴う臨時会を2月4日に開催し、新たな構成が決まりました。

(◎=委員長、○=副委員長)

- ◆総務水道常任委員会
◎安田真也、○加藤克明、野口博、高野昇、伊藤正勝、降旗聡、互金次郎、松崎誠
- ◆文教福祉常任委員会
◎小野潔、○中村喜一、松澤正、佐藤清治、遠藤義法、稲葉剛治
- ◆建設生活常任委員会
◎中嶋通治、○五十嵐恵千子、山崎勝他、小林昭子、稲垣茂行、齋藤詔治
- ◆議会運営委員会
◎松澤正、○遠藤義法、安田真也、中嶋通治、高野昇、五十嵐恵千子、稲垣茂行
- ◆議会広報委員会
◎加藤克明、○小野潔、中村喜一、小林昭子、伊藤正勝、互金次郎、松崎誠
- ◆東埼玉資源環境組合議会議員
中嶋通治、稲垣茂行、松崎誠
- ◆吉川松伏消防組合議会議員
加藤克明、中村喜一、小林昭子、五十嵐恵千子、伊藤正勝
- ◆江戸川水防事務組合議会議員
安田真也、佐藤清治、互金次郎



水田農業振興事業のなかで、農地活用促進事業費補助金が無いのはなぜか。今後、農地中間管理機構を通じた事業が進めば補正予算を計上する。耐震診断、耐震改修補助金は昨年に比べどの様な位置づけになっているのか。平成25年度補助金額の拡充を行い、耐震診断、改修とも10件を見込んでいます。南中学校周辺の浸水被害解消について、抜本的な解決策と、事業はいつ頃になるのか。最終的な排水先である大場川、第二大場川の河川改修が重要となる事から、県へ河川改修の要望を行っていく。小公園に新しい遊具の設置要望があるが、計画は有るのか。様々な要望があり、検討する。

賛成多数で可決



3月定例会 審議結果

《市長提出議案》

○=賛成、×=反対、議=議長（議決には加わりません）、◎=議案提出者

議案名	議決結果	自民・みらい							共産			公明		改革		無所属					
		加藤 克明	野口 博	中村 喜一	安田 真也	中嶋 通治	松澤 正	山崎 勝他	松崎 誠	佐藤 清治	高野 昇	遠藤 義法	小林 昭子	互 金次郎	五十嵐恵千子	小野 潔	稲垣 茂行	伊藤 正勝	稲葉 剛治	降旗 聡	齋藤 詔治
吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市部設置条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市職員公務災害見舞金支給条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度吉川市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成26年度吉川市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度吉川市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

《議員提出議案》

微小粒子物質（PM2.5）に係る総合的な対策の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療保険料の大幅引き下げを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	議	○	○	◎	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
介護保険制度の国庫負担割合の引き上げを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	議	○	◎	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
福島第一原発の放射能汚染水漏れを繰り返さない対策をする事を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○

《請願》

「特定秘密保護法」を速やかに撤廃するよう国に意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×
-----------------------------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

*会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、「改革」は「市民改革クラブ」の略です。

青葉若葉が目にしみる、すがすがしい季節になりました。

23日間にわたり開催された3月定例会。2月の臨時議会では、新たに正副議長が選出され、各委員会の構成も再編されました。それにとともに、新たな議会広報委員会も構成され、初めての発行を迎えることとなりました。

市民の皆様は、今まで以上に親しまれ、関心を持って読んで頂ける「議会だより」を目指し、さまざまな視点を持って、意見を交わし、市議会の情報を、さらにわかりやすくお伝えできよう一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、「議会だより」をご愛読下さいませ。よろしくお願いいたします。

加藤 克明

編集後記

6月2日（月） 本会議【開会日・議案上程】

6月4日（水） 本会議【議案審議】

6月5日（木） 委員会【総務水道・文教福祉】

6月6日（金） 委員会【建設生活】

6月9日（月） 委員会【請願審査】

6月11日（水） 本会議【委員長報告】

6月12日（木） 本会議【一般質問】

6月13日（金） 本会議【一般質問】

6月16日（月） 本会議【一般質問・閉会日】

議会を傍聴しませんか？ 次回定例会の予定



表紙の写真

昨年4月に開校した美南小学校の「校歌完成披露式典」が2月25日に実施されました。美南小学校の児童や保護者の意見など、多くの人の想いが込められて作られた校歌が、会場となった体育館いっぱい響き渡りました。